

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部						
4-②	商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する	産業振興部、都市整備部						
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画策定時	実績値				31年度目標値	進捗状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
魅力化実施店舗数（累計）	店舗	10	18	31	39	46	50	A
商店街団体等主催・共催のイベントの来場者数（年間）	人	115,400	105,607	92,997	101,340	99,289	116,000	C
関連事業								
○商店街にぎわい創出事業○商店等魅力アップ推進事業○見附台周辺地区整備事業○中心市街地活性化推進事業								
決算額								
	28年度	29年度	30年度	31年度				
事業費（千円）	7,190	27,040	28,518					
執行率（％）	83.28	93.40	89.84					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣をはじめ、「匠の店」による「コト体験」の実施及び一店逸品運動に対する支援を行うとともに、「まちゼミ」などのイベントや販売促進活動を支援しました。 ・見附台周辺地区整備事業における事業者を決定し、基本協定や施設整備契約等を締結しました。また、「平塚駅周辺地区活性化ビジョン」を策定するとともに、若手商業者による「平塚まちなか活性化ロードマップ」の策定を支援したほか、平塚駅北口改札階と北口駅前広場を結ぶ下りエスカレーター設置に向け、調査設計を実施しました。 								

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・消費者に選ばれる個店づくりを進めるほか、集客や購買につながる商店会活動を促進する必要があります。
- ⇒アドバイザー派遣などに取り組むとともに、「まちゼミ」など商店街団体等が行う共同販売促進活動に対して支援します。
- ・集客の核となる平塚文化芸術ホールの整備を中心とした見附台周辺地区整備事業との相乗効果を高めるため、エリアマネジメント組織設立に向けた意識改革や人材発掘及び育成が必要です。また、下りエスカレーター設置に向けた、関係者との調整が必要です。
- ⇒令和3年度の平塚文化芸術ホール供用開始に向け、民間活力を生かしつつ、着実に建設工事を進めるとともに、中心市街地活性化に向けた事業に対し主体的に取り組む組織づくりを推進します。また、下りエスカレーターの早期設置に向けた協議を進めます。